



小森 隆一 議員(公明党議員会)

健康寿命を延ばすための生活習慣病やがん対策の推進について



Q 本市では、現在、がん患者の医療用ウィッグの購入費助成を行っていないが、医療用ウィッグの購入費助成をしている市町が県内でもあると聞いている。購入費助成をしている県内の市町と、本市の購入費助成への取り組みの考えを伺いたい。

A 健康医療部長

現在、県内で医療用ウィッグの購入費助成を行っている主な市町村は、栃木市、大田原市、小山市、日光市です。

また、本市での購入費助成制度の導入については、がん患者の身体的、精神的な負担などを和らげる視点から重要であると考えていますので、可能な限り早期導入に向けて検討していきたいと考えているところです。



滝田 洋子 議員(日本共産党議員団)

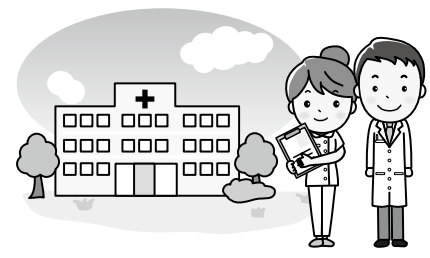
子育て支援について



Q こども医療費助成制度の対象を、現在の中学3年生までから高校3年生までに拡充することについて、市長は、施政方針質疑での答弁で、令和4年4月から実施すると述べていた。このような医療費無料化が拡充されることはとてもうれしいことであり、多くの人の声が届いたものだと考えられるが、高校3年生まで医療費を無料化した場合、費用はどのくらい上乗せになるか。

A こども福祉部長

高校3年生まで対象を拡大した場合の費用は、令和3年度当初予算の事業費と比較し、約7,000万円増の約4億4,500万円と見込んでいます。



その他の質問

☆投票しやすい環境作りと主権者教育について



田所 良夫 議員(新風)

出流原PA周辺総合物流開発整備について



Q 出流原PA周辺総合物流開発整備の中で、国際防災拠点の創設とはどのようなものを想定しているか。また、その機能性と必然性等を伺いたい。

A 市長

本市では出流原PA周辺において大規模災害時の\*サプライチェーンの確保、広域的な防災拠点としての集配の拠点、燃料供給の備蓄基地、災害時に利用される代替港湾との搬出入機能など、防災バックアップ機能を有する佐野インランドポートを核とした総合物流拠点整備の構想があります。こうした総合物流拠点としてのサプライチェーンを活用しつつ、食料品や日用品のほか、救護物資等の物流を確保することにより、本市のみならず国内外の災害にも対応できるものと考えています。

その他の質問

☆循環型社会の構築に向けた、本市の鳥獣被害防止計画と鳥獣害防止対応について

※サプライチェーン(Supply Chain)とは・・・製品の原材料や部品の調達から、消費者に届くまでの一連の生産・流通プロセスのこと。